

LED照明機器レンタル デザインや搬入、撤去も

トリコン 新事業に着手

発光ダイオード（LED）製造、販売の（株）トリコン（島根県邑南町中野、上田康志社長）は今春からライトアップ事業に乗り出す。LEDを使ってライトアップする際のデザイン、照明機器の貸し出し、設置・撤去のトータルサービスを想定している。専門の社員2人を採用し、島根県内や広島県などでのイベント需要を見込んでいる。

同社は自動車用や電気機器用などのLEDを製造し、以前からライトアップ関連事業を模索。昨年12月に同社も参画して開かれたJR三江線宇都井駅と周辺でLEDを使って彩るライトアップが好評だったため、本格的に乗り出すことにした。

イベント会場で専用の照明機器を購入してライトアップをするには多額の費用がかかり、断念するケースもあるという。同社のライトアップ事業はLED照明機器をレンタルすることによって主催者の負担を抑える。LEDは以前、照度が弱かったが、性能が向上しライトアップにも耐えるという。

同社は、県の中小企業雇用創出特別支援事業を利用して、デザイン担当と配線担当各1人を4月から雇用する予定。当面は顧客のニーズに応じて、照明機器を製造し、ストックする。

上田社長は「ライトアップをもっと身近なものにした。新事業によって地元で夜のイベントが増えれば、宿泊客の増加にもつながる」と話した。



トリコンが製造したLEDでライトアップされたJR三江線宇都井駅のホームと橋脚＝2010年12月